

令和7年度事業報告

1. 事業概要

令和7年度は、前年度に発生した「令和の米不足」による混乱こそ新米の流通以降落ち着きを見せたものの、高止まりする米価や円安を背景とした原材料・エネルギー価格の高騰が依然として家計を圧迫し続ける一年となりました。食料品をはじめとする幅広い品目で物価上昇は続いており、今なお物価高社会の渦中にあります。

その中であって、ミラノ・コルティナ冬季オリンピックでは、日本選手が躍動、特にスノーボードやフィギアスケートなどの種目では数多くのメダリストが誕生しました。また、スピードスケートでは十勝が誇る高木美帆選手がスケート人生の集大成として氷上に立って活躍したことは、地元にとって明るい話題となりました。

高齢者の雇用情勢に目を向けると、令和7年版高齢社会白書によれば、令和6年の労働力人口6,957万人のうち、65～69歳は400万人、70歳以上は546万人に達しています。労働力総人口に占める65歳以上の割合は13.6%と長期的な上昇傾向にあり、現在就業している60歳以上の者の約8割が「70歳以降も、あるいは働けるうちはいつまでも」働きたいとする高い就業意欲を持っていることが示されました。健康寿命の延伸とともに、高齢期における労働力が社会を支える不可欠な力となっていることが、改めて浮き彫りとなっています。

当センターにおいては、近年の高齢者再雇用や定年延長の進展の影響もあり、入会者の減少及び高年齢化が課題となっています。そのような状況から長らく会員の減少傾向が続いていましたが、令和7年度末の会員数は前年度末比で増加に転じ、ようやく会員減少傾向から、回復の兆しが見え始めました。

経営面においては、受注件数の減少に加え、インボイス制度施行に伴う消費税支払いの負担もあり、当センターの財政状況は厳しさを増しています。これに対し、就業先の拡大に向けた関係機関との連携を強化するとともに、帯広市に対して財政支援および事業発注の確保に向けた要請を行い、あわせて経費節減に努めました。

安全・適正就業の取組みにおいては、安全就業だよりや「生き生き」を通じた啓発に注力しましたが、残念ながら傷害事故及び賠償事故がそれぞれ発生しました。

また、課題となっている入会促進と就業機会の拡大に向けては、地元マスメディアへの出演や関係団体のイベント参画のほか、ごみ収集カレンダーや市町連だより等への広告掲載など、地域に根ざした普及啓発事業を行いました。

以下、令和7年度の事業実績は次のとおりです。

	令和7年度	令和6年度	増△減
正会員数	384 人	357 人	27 人
受託件数	3,932 件	4,287 件	△ 355 件
契約金額	135,052,368 円	135,149,755 円	△ 97,387 円

2. 事業実施状況

(1) 会員の増強

新入会員説明会を毎月開催し、特に退職時期と重なる3月から5月にかけては毎週開催するなど、入会機会の確保に努めました。

広報活動においては、帯広市のごみ収集カレンダーや市町連だより、FMラジオ番組表に会員募集の有料広告を掲載したほか、「社協フェスタ」に参加し、パンフレット配布による会員募集の周知を行いました。さらに地元FM局への月1回出演など、メディアも活用した会員増強に取り組みました。

また、「ジョブジョブとかちダイバーシティ」のお仕事説明会に参加し、センター事業及び説明会の案内を行うなど、積極的な啓発活動を展開しました。

(2) 就業率の向上

就業機会の周知にあたっては、機関誌「生き生き」への記事掲載やチラシ配布を広く行い、就業率の向上を図りました。

公共関係の長期就業については公募制を実施し、特定会員による就業の固定化を防止するとともに、適正かつ公平な就業機会を提供するため、グループ就業やローテーション就業によるワークシェアリングを実施し、会員間の就業機会の拡大に配慮しました。

(3) 受注の拡大

地元メディアや広告媒体を効果的に活用し、受注の掘り起こしに注力したほか、関係団体のイベントへ積極的に参加し、事業PRに努めました。

独自事業については、スケート教室を3年連続で実施しましたが、水泳教室及びスキー教室については諸事情により中止としました。

(4) 安全就業対策

安全就業推進計画に基づき、「事故ゼロ」を目標に掲げ、安全・適正就業委員会を中心に、安全パトロールの実施や安全標語の募集等、安全意識の向上に取り組みましたが、残念ながら、傷害事故1件、賠償事故3件が発生しました。

ア 安全パトロールの実施

7月に安全・適正就業委員会委員が、就業中の緑ヶ丘墓地の剪定現場を視察し、就業会員の安全保護具の着用状況等について点検を行い、事故の未然防止を呼びかけました。あわせて、草刈事故があった自衛隊西宿舎の現場視察を行い、巡回終了後に、気が付いた点などについて、具体的な改善策を協議しました。

イ 安全標語の募集

安全標語については、11名から42作品の応募があり、安全・適正就業委員会において入選作品を選考しました。

12月3日（水）に開催した安全就業講習会において表彰を行うとともに、応募作品を玄関ロビーに掲示し、来所者や会員への啓発を図っています。

優秀作品 「作業前 必ず励行 先ず確認」

蒔 苗 信 夫さん

佳作 「お互い 声をかけ合い 安全作業」

田 中 裕 史さん

佳作 「焦らない 事前確認 事故ナシへ」

赤 川 美 紀さん

ウ 安全就業推進強化月間の取り組み

7月の全国統一「安全・適正就業強化月間」に合わせ、交通安全旗の掲揚や横断幕・幟の設置を行い、安全・安心の意識の高揚を図りました。

エ 機関紙による啓発

毎月発行の機関誌「生き生き」や年4回発行の「安全就業だより」を通じ、屋外作業時の事故防止や冬期間特有の事故及び交通事故防止などの留意点について継続的に発信しました。

オ 事故の発生状況

傷害事故 1件

発生日	事 故 の 内 容
11・29	剪定作業中に三脚から転落し頭部を打撲

賠償事故 3件

発生日	事 故 の 内 容
5・8	草刈り作業中に誤って隣家の窓ガラスを破損
7・3	草刈り作業中に誤って駐車中の乗用車のドアガラスを破損
8・11	草刈り作業中に誤って駐車中の乗用車のドアガラスを破損

(5) 組織の充実

地域班における役員のなり手不足や会員間の連携不足といった課題に対し、機関誌「生き生き」に活動促進記事を掲載したほか、地区長・班長の負担軽減策について検討しました。

職群班（剪定・草刈・草取り）では円滑な協力体制が構築された一方、新規就業者が少なく、後継者の育成が課題となっています。

(6) 財政基盤の確立

国及び帯広市からの補助金を活用し、就業促進に取り組みました。

また、補助金の増額要請や受注拡大に向けた要望活動を継続するとともに、適正かつ効率的な財政運営に努めました。

(7) 周知啓発活動の促進

ア ホームページ

利便性向上のためリニューアルを行うことで、情報を整理し、読みやすい画面構成へと刷新しました。

また、新入会員説明会の日程やスケート教室等の最新情報を随時更新し、市民サービスの向上を図りました。

イ ボランティア活動

4月13日(日)小雨が降る中、春の動物園開園前の園内清掃に総勢33名が参加しました。

また、9月16日(火)には独自の活動として13名による交通安全旗振り運動を実施しました。

ウ シルバーフェア

10月の事業普及啓発月間に合わせて、第18回シルバーフェアを開催しました。午前10時から午後3時までの開催時間中に、約130名の来場者を迎え、シルバー人材センター周知の機会としました。

(8) 各種講習会等の開催

草取り、剪定、草刈・芝刈講習会を例年通り開催し、就業会員の増加を図るとともに、会員の技能向上と安全就業の意識醸成に取り組みました。

また、宛名書き講習会や安全就業講習会、もっと知ろうシルバー研修会を開催しました。

(9) 会報の発行

毎月発行の機関誌「生き生き」と広報紙「おびひろシルバー」の夏季号・新年号を発行しました。

「生き生き」は、A3版横書きに変更し、センターからのお知らせや各種会議の実施状況のほか確定申告についてなど最新情報を掲載しました。

「おびひろシルバー」は、センター事業や会員の活動状況など、身近な紙面づくりに努めました。

(10) 福利厚生事業の推進

会員相互の親睦を深めるため、理事長杯パークゴルフ大会及び新年会を実施しました。

(11) 「すずらんの会」の活動状況

ペットボトルキャップを(株)福原に寄贈したほか、シルバークフェアの開催に協力しました。

また、女性会員の交流を目的としたお茶会やお散歩の会などを計4回開催し、組織の活性化を図りました。

3. 会 議 の 開 催 状 況

各種会議等の開催状況は、次のとおりです。

会 議 名	開 催 日	備 考	
定 時 総 会	7・5・29	報告事項 3 件・審議事項 4 件	
理 事 会	7・4・21	第 1 回 報告事項 3 件・審議事項 9 件	
	7・5・29	臨 時 審議事項 1 件	
	7・6・23	第 2 回 報告事項 3 件・審議事項 3 件・その他 2 件	
	7・8・8	第 3 回 報告事項 4 件・審議事項 2 件・その他 2 件	
	7・12・5	第 4 回 報告事項 3 件・審議事項 2 件・その他 2 件	
	8・2・16	第 5 回 報告事項 4 件・審議事項 1 件・その他 2 件	
	8・3・9	第 6 回 報告事項 4 件・審議事項 4 件・その他 2 件	
理 事 会 専 門 部 会	総 務 部 会	7・7・30	第 1 回 福利厚生、事務事業、ポイント制等
		7・8・29	第 2 回 福利厚生、事務事業等
		7・11・13	第 3 回 福利厚生、配分金等
		8・1・22	第 4 回 福利厚生、事務事業等
		8・2・26	第 5 回 福利厚生、事務事業等
	業 務 部 会	7・7・23	第 1 回 研修会、事務分掌等
		7・9・3	第 2 回 適正就業、研修会、新規事業開拓等
		7・10・28	第 3 回 適正就業、研修会、長期就業等
		8・1・30	第 4 回 適正就業、長期就業、新規事業開拓等
		8・3・6	第 5 回 適正就業、事業計画等
	啓 発 部 会	7・7・24	第 1 回 事務分掌、啓発活動、シルバーフェア等
		7・9・4	第 2 回 啓発活動、シルバーフェア等
		8・2・24	第 3 回 実施計画、シルバーフェア等
	安全・適正就業委員会	7・6・5	第 1 回 事故発生状況、安全就業だより等
		7・7・29	第 2 回 事故発生状況、ペナルティ等
7・9・26		第 3 回 事故発生状況、安全標語、安全就業講習会等	
8・3・27		第 4 回 事故発生状況、安全標語、安全就業講習会等	
長期就業調整委員会	7・10・28	第 1 回 就業者募集について	
	7・12・11	第 2 回 就業者応募状況と今後の作業について	
	8・1・9	第 3 回 面談について	

広 報 委 員 会	7・6・25	第 110 夏季号 編集会議
	7・7・22	割付作業
	7・7・31	校正
	7・10・31	第 111 新年号 編集会議
	7・11・21	割付作業
	7・12・8	校正
地 区 長 会 議	7・4・15	令和7年度事業計画について 地区・班活動について
地 区 長 ・ 班 長 会 議	8・2・16	令和7年度事業実績報告（12月末） 専門部会・委員会報告について 地域班の活動状況について 意見交換
監 査 受 審	7・4・16	令和6年度事業報告・収支決算
	7・8・6	令和7年度第1・四半期までの業務状況等
	7・11・14	令和7年度第2・四半期までの業務状況等
	8・2・12	令和7年度第3・四半期までの業務状況等
役員候補者選考委員会	7・4・7	理事候補者の選考について